Dell™ 1610HD プロジェクタ

ユーザーズガイド

メモ、注意、警告

メモ：「メモ」は、プロジェクタの使用に際して役立つ重要な情報です。

注意：「注意」は、ハードウェアの破損やデータの損失を防ぐ方法について記載しています。

警告：「警告」は、物的損害、人的傷害、もしくは死につながる潜在性を意味します。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。
© 2009 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. 社の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、本書を複製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標：*Dell* および *DELL ロゴ* は Dell Inc. の商標です。*DLP* および DLP ロゴは TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED の商標です。*Microsoft* および *Windows* は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名はそれぞれの所有者に帰属しています。Dell Inc. は他社の所有する商標や製品名の所有権をすべて放棄します。

モデル 1610HD

2009 年 12 月 改訂 A00

目次

1 プロジェクタについて 6

プロジェクタについて 7

2 プロジェクタの接続 9

コンピュータへの接続 **10**

VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続 10

VGA ケーブルを使用してループする一接続をモニタしてください 11

RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続 12

DVD プレーヤーの接続 **13**

S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続 13

コンポジットビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続 14

コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続 15

HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの接続 16

LAN (構内通信網 **)** への接続 **17**

RJ45 ケーブルを通してネットワークに接続されたプロジェクタを制御する。 17

商用 RS232 コントロールボックスの接続 . . . 18

3 プロジェクタの使用方法 19

プロジェクタの電源を入れる 19

プロジェクタの電源を切る 19

投影画像の調整 20
プロジェクタの高さを上げる 20
プロジェクタの高さを下げる 20

プロジェクタのズームとフォーカスの調整 21

投影画像サイズの調整 22

コントロールパネルの使用方法 23

リモコンの使用方法 26

. 28

リモートコントロールバッテリの取り付け 29

リモコンの動作範囲 30

オンスクリーンディスプレイの使用方法 31
メインメニュー 31
自動調整 31
入力選択 32
ピクチャ（PC モード） 33
ピクチャ（ビデオモード） 34
表示（PC モード） 35
表示（ビデオモード） 37
ランプ 38
設定 38
情報 41
その他 41

Web 管理からプロジェクタの管理 **48**
セットワーク設定の設定 48
Web 管理にアクセスする 48
プロジェクタの管理 49

4 プロジェクタのトラブルシューティング 61

ガイド信号 **65**

ランプの交換 **67**

5 仕様 69

6 Dell へのお問い合わせ 74

7 付録 : 用語集 75

1

プロジェクタについて

このプロジェクタには次のものが付属しています。すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一、不足の品がありましたら、Dell™ までご連絡ください。

同梱されているもの

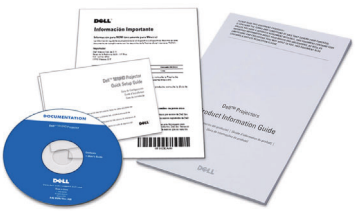
電源ケーブル

1.8m VGA ケーブル（VGA - VGA）

キャリーケース

リモコン

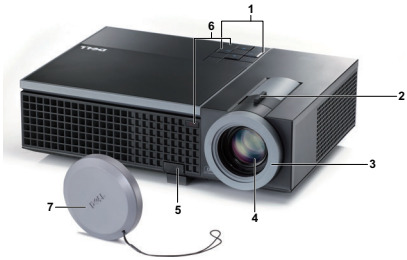
CD ユーザーガイドおよび取扱説明書



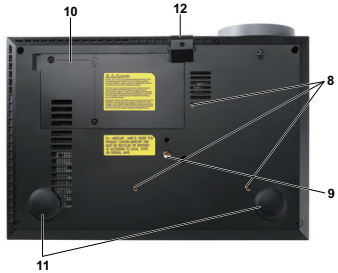
単 4 電池（2）

プロジェクタについて

上方図



底面図



1	コントロールパネル
2	ズームタブ
3	フォーカスリング
4	レンズ
5	エレベータボタン（高さ調整用）
6	IR レシーバ
7	レンズキャップ
8	取付ホール（天吊り用）ねじ穴 M3 x 6.5mm 深度。推奨トルク <8 kgf-cm
9	取付ホール（三脚用）：インサートナット 1/4"*20 UNC
10	ランプカバー
11	傾斜調整ホイール
12	エレベーターフット

⚠ 警告：安全上のご注意

1 プロジェクタ機器は熱を発するものの近くでは使用しないでください。

2 プロジェクタはほこりの多い場所では使用しないでください。ほこりが原因でシステムが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることがあります。

3 プロジェクタはよく換気された場所に設置してください。

4 プロジェクタにある通気口や開口部を塞がないでください。

5 プロジェクタは 5ºC ～ 35ºC の周囲温度で操作します。

6 プロジェクタの電源をオンにした後、またはオフにした直後は、換気口がきわめて高温になっているため、触れないようにしてください。

7 プロジェクタがオンになっている間レンズをのぞき込まないでください。目を損傷する原因となります。

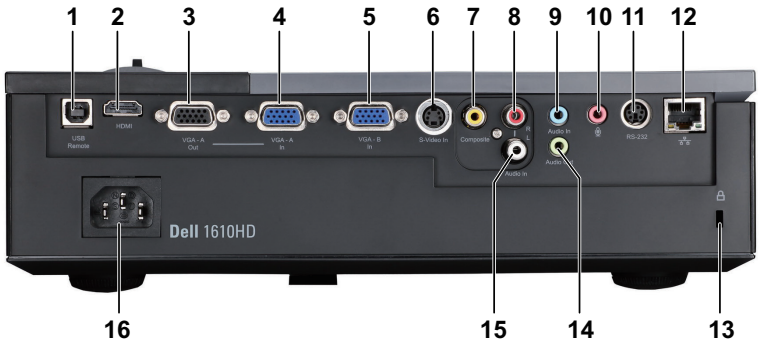
8 プロジェクタがオンになっている間、プロジェクタの前に物体を置かないでください。熱で物体が溶けたり燃える原因となります。

メモ:

- お客様自身でこのプロジェクタの天井取り付けを試みないでください。取り付けは、専門の取り付け業者に依頼してください。
- 推奨されるプロジェクタ天井取り付けキット (P/N: C3505)。詳細については、Dell サポート Web サイト (**support.dell.com**) を参照してください。
- 詳細については、プロジェクタに付属する*安全情報*を参照してください。

2

プロジェクタの接続

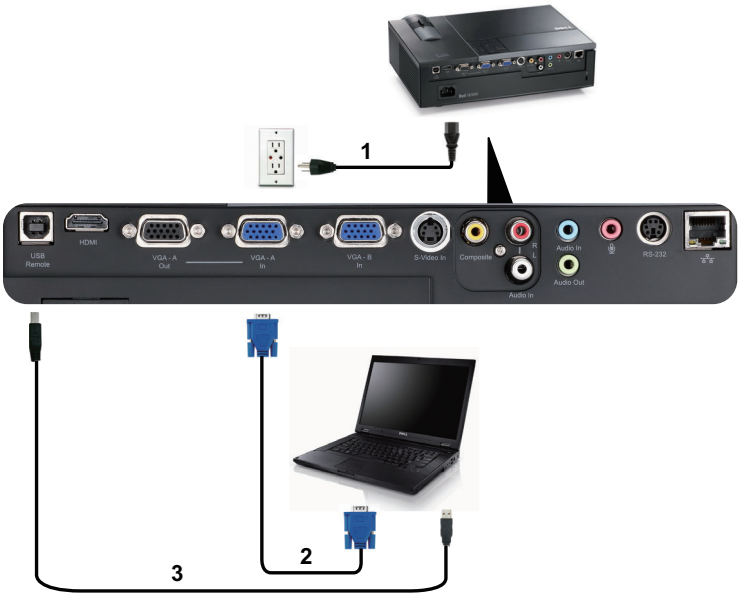


1	USB リモートコネクタ	9	オーディオ -A 入力コネクタ
2	HDMI コネクタ	10	マイクコネクタ
3	VGA-A 出力 (モニターループスルー)	11	RS232 コネクタ
4	VGA-A 入力（D サブ）コネクタ	12	RJ45 コネクタ
5	VGA-B 入力（D サブ）コネクタ	13	セキュリティケーブルスロット
6	S ビデオコネクタ	14	オーディオ出力コネクタ
7	コンポジットビデオコネクタ	15	オーディオ -B 左チャンネル入力コネクタ
8	オーディオ -B 右チャンネル入力コネクタ	16	電源コードコネクタ

警告 : この章で説明する交換処理の前に、ページ **7** にある「安全上のご注意」をお読みください。

コンピュータへの接続

VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続

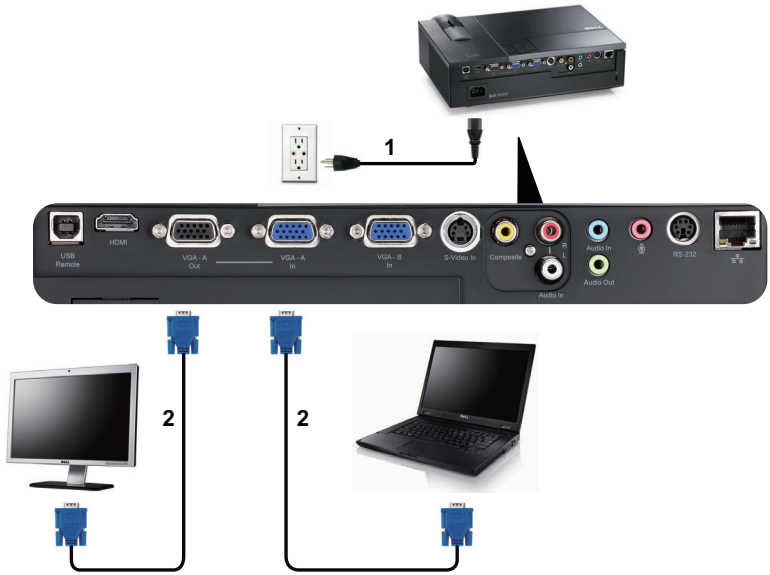


1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル
3	USB-A - USB-B ケーブル

メモ : USB ケーブルは付属していません。

メモ : リモコンで「次のページ」機能と「前のページ」機能を使用する場合は、USB ケーブルを接続する必要があります。

VGA ケーブルを使用してループする一接続をモニタしてください



1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル

メモ：プロジェクタには VGA ケーブル 1 本のみが付属しています。追加の VGA ケーブルは、Dell Web サイト (**dell.com**) でご購入いただけます。

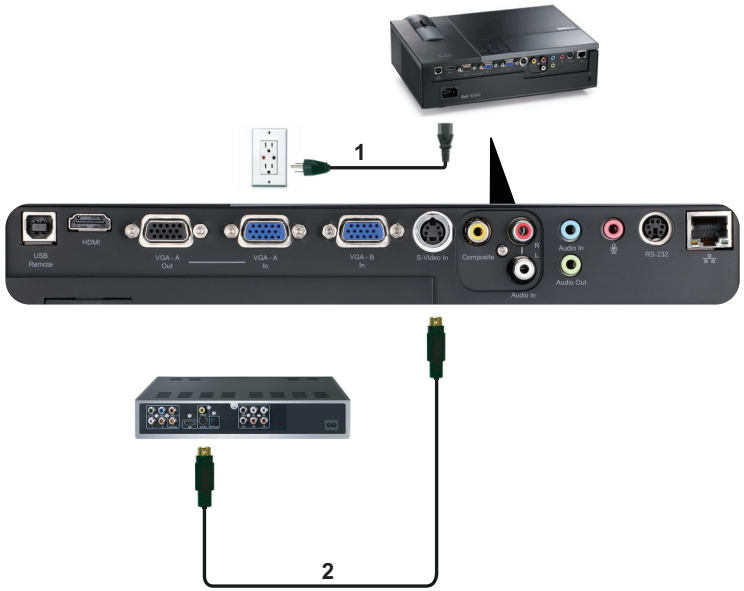
RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続

1	電源コード
2	RS232 ケーブル

メモ : RS232 ケーブルは付属していません。ケーブルと RS232 リモコンソフトウェアについては専門のインストール業者までお問い合わせください。

DVD プレーヤーの接続

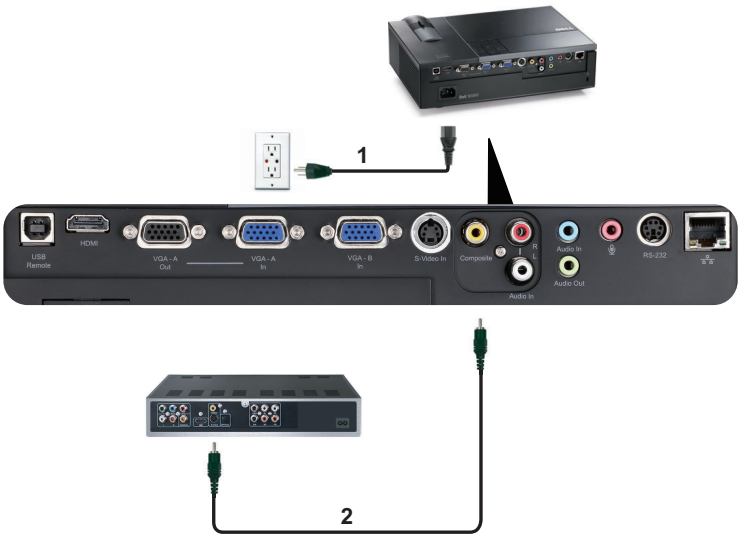
S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



1	電源コード
2	S ビデオケーブル

メモ : S ビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト (**dell.com**) で S ビデオ延長（1,524.00 cm/3,048.00 cm）ケーブルをお買い求めいただけます。

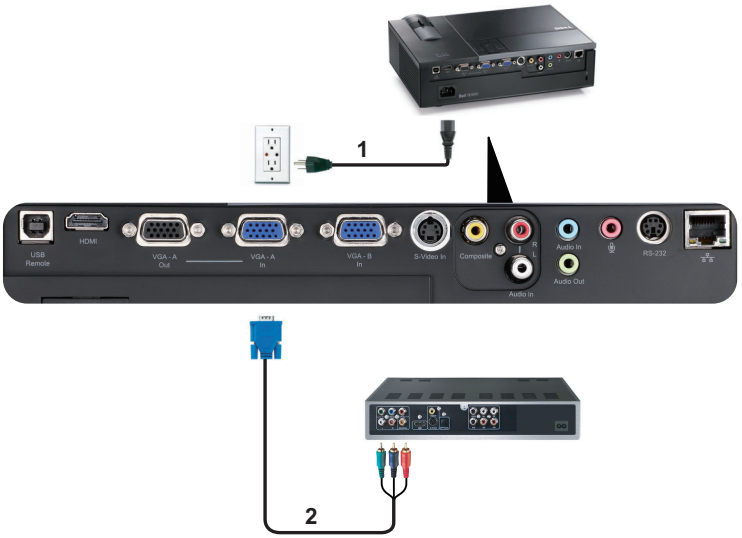
コンポジットビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



1	電源コード
2	コンポジットビデオケーブル

メモ : コンポジットビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト (**dell.com**) でコンポジットビデオ延長（1,524.00 cm/3,048.00 cm）ケーブルをお買い求めいただけます。

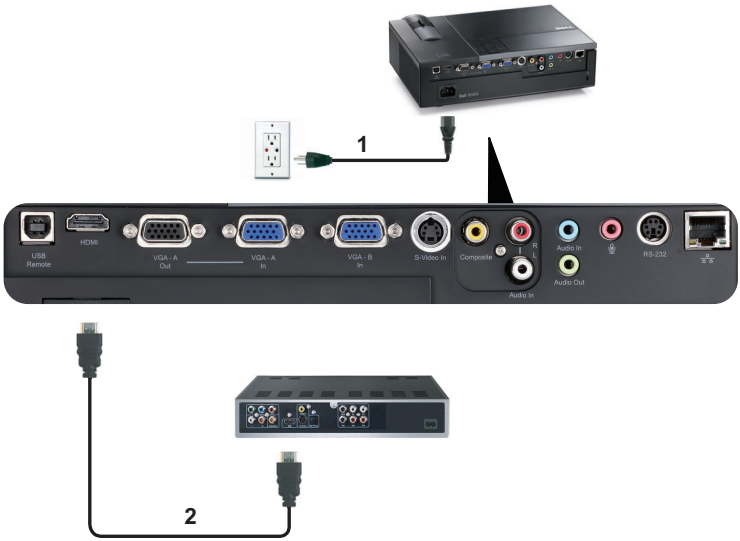
コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



1	電源コード
2	VGA - コンポーネントビデオケーブル

メモ : VGA - コンポーネントビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト (**dell.com**) で VGA - コンポネントビデオ延長（1,524.00 cm/3,048.00 cm）ケーブルをお買い求めいただけます。

HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

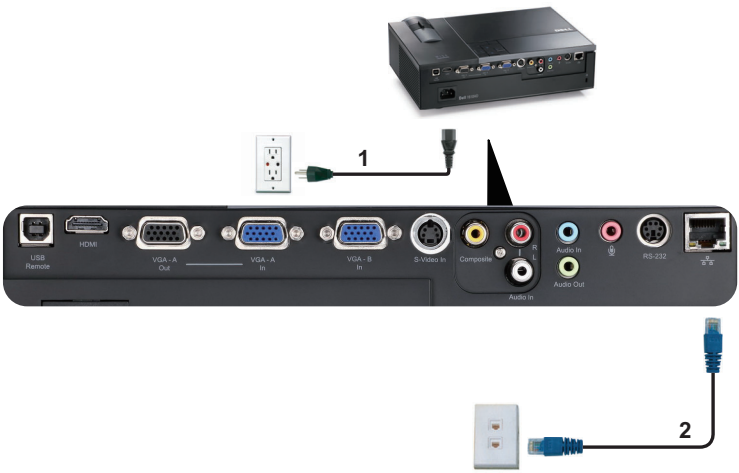


1	電源コード
2	HDMI ケーブル

メモ : HDMI ケーブルは付属していません。

LAN (構内通信網) への接続

RJ45 ケーブルを通してネットワークに接続されたプロジェクタを制御する。

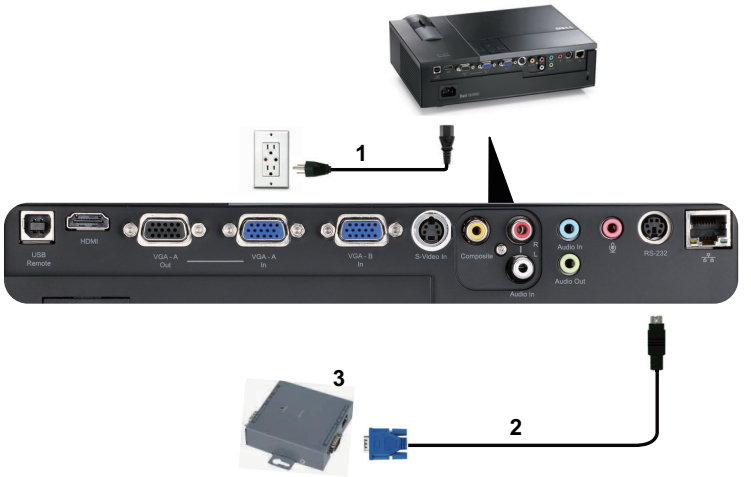


LAN (構内通信網)

1	電源コード
2	RJ45 ケーブル

メモ : RJ45 ケーブルは付属していません。

商用 RS232 コントロールボックスの接続



1	電源コード
2	RS232 ケーブル
3	商用 RS232 コントロールボックス

メモ：RS232 ケーブルは付属していません。ケーブルの入手については、専門技術者にお問い合せください。

3

プロジェクタの使用方法

プロジェクタの電源を入れる

メモ: プロジェクタの電源をオンにしてから、ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源をオンにしてください。**電源**ボタンを押すまで、ボタンは青色で点滅します。

1 レンズキャップを外します。

2 電源コードと適切な信号ケーブルを接続します。プロジェクタの接続については、ページ 9 の「プロジェクタの接続」を参照してください。

3 **電源**ボタンを押します（**電源**ボタンの位置については、ページ 23 の「コントロールパネルの使用方法」を参照してください）。

4 ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源を入れます。

5 適切なケーブルを使用して、プロジェクタにソースを接続します。プロジェクタにソースを接続する方法については、ページ 9 の「プロジェクタの接続」を参照してください。

6 デフォルトで、入力ソースは VGA-A に設定されています。必要に応じて、プロジェクタの入力ソースを変更してください。

7 プロジェクタに複数のソースが接続されている場合は、リモコンまたはコントロールパネルの **ソース**ボタンを押して、希望するソースを選択します。**ソース**ボタンを確認するには、ページ 23 の「コントロールパネルの使用方法」とページ 26 の「リモコンの使用方法」を参照してください。

プロジェクタの電源を切る

注意: プロジェクタの接続を外す前に、次に説明する手順に従って正しくシャットダウンします。

1 **電源**ボタンを押します。

メモ: **「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします」**というメッセージが画面に表示されます。メッセージは 5 秒後に消えるのを待つか、**メニュー**ボタンを押してメッセージを消去します。

2 **電源**ボタンをもう一度押します。冷却ファンが 120 秒間作動します。

3 時間を掛けずにプロジェクタの電源を切るには、プロジェクタの冷却ファンが作動中に電源ボタンを 1 秒間押し続けます。

メモ : プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで 60 秒待ちます。

4 コンセントとプロジェクタから電源ケーブルの接続を外します。

投影画像の調整

プロジェクタの高さを上げる

1 **エレベーター**ボタンを押します。

2 プロジェクタを任意の高さまで上げ、ボタンを離してエレベーターフットを固定します。

3 傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

プロジェクタの高さを下げる

1 **エレベーター**ボタンを押します。

2 プロジェクタを下げ、ボタンを離してエレベーターフットを固定します。

1	エレベーターボタン
2	エレベーターフット (傾きの角度 : 0 ～ 8 度)
3	傾斜調整ホイール

プロジェクタのズームとフォーカスの調整

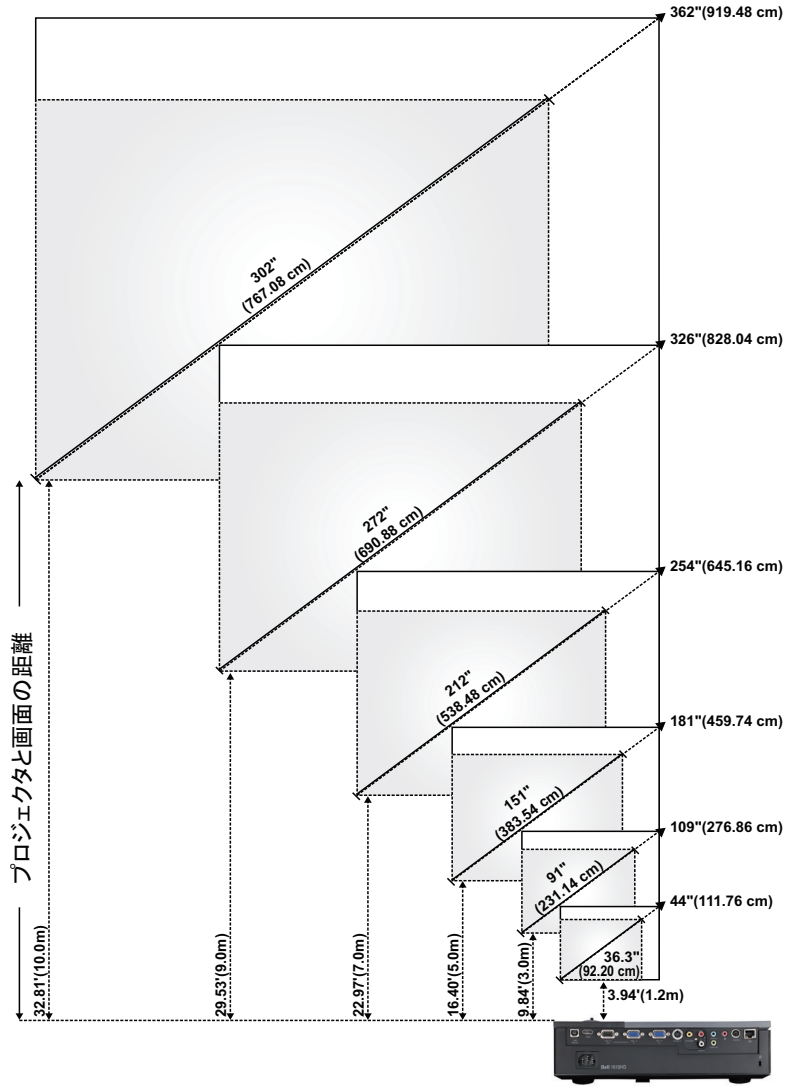
警告 : プロジェクタを移動したり、キャリーケースに収納する場合には、ズームレンズとエレベーターフットが完全に引っ込んでいることを確認して、プロジェクタが破損しないようにします。

1 ズームタブを回して拡大または縮小します。

2 画像が鮮明になるまでフォーカスリングを回します。プロジェクタで焦点が合う距離は 120.09 cm ～ 1,000.05 cm（1.2 m ～ 10 m）です。

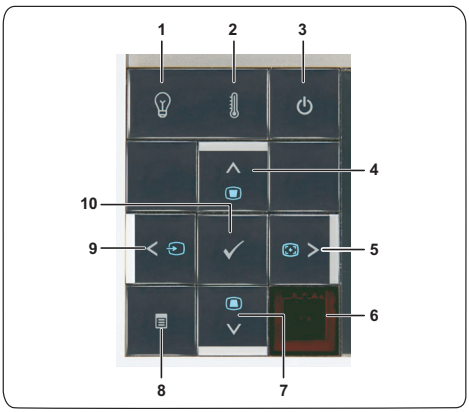
1	ズームタブ
2	フォーカスリング

投影画像サイズの調整


362"(919.48 cm)
302"
(767.08 cm)
326"(828.04 cm)
272"
(690.88 cm)
254"(645.16 cm)
212"
(538.48 cm)
181"(459.74 cm)
151"
(383.54 cm)
109"(276.86 cm)
91"
(231.14 cm)
44"(111.76 cm)
36.3"
(92.20 cm)
3.94'(1.2m)
プロジェクタと画面の距離
32.81'(10.0m)
29.53'(9.0m)
22.97'(7.0m)
16.40'(5.0m)
9.84'(3.0m)

画面（対角線）	最大	44" (111.76 cm)	109" (276.86 cm)	181" (459.74 cm)	254" (645.16 cm)	326" (828.04 cm)	362" (919.48 cm)
	最小	36.3" (92.20 cm)	91" (231.14 cm)	151" (383.54 cm)	212" (538.48 cm)	272" (690.88 cm)	302" (767.08 cm)
画面サイズ	最大（幅 x 高さ）	37.01" X 23.23"	92.13" X 57.48"	153.94" X 96.06"	215.35" X 134.65"	276.77" X 172.83"	307.48" X 192.13"
		(94 cm X 59 cm)	(234 cm X 146 cm)	(391 cm X 244 cm)	(547 cm X 342 cm)	(703 cm X 439 cm)	(781 cm X 488 cm)
	最小（幅 x 高さ）	30.71" X 19.29"	76.77" X 48.03"	128.35" X 79.92"	179.53" X 112.20"	230.71" X 144.09"	256.30" X 160.24"
		(78 cm X 49 cm)	(195 cm X 122 cm)	(326 cm X 203 cm)	(456 cm X 285 cm)	(586 cm X 366 cm)	(651 cm X 407 cm)
Hd	最大	25.98" (66 cm)	64.96" (165 cm)	107.87" (274 cm)	151.18" (384 cm)	194.49" (494 cm)	216.14" (549 cm)
	最小	21.65" (55 cm)	53.94" (137 cm)	90.16" (229 cm)	125.98" (320 cm)	162.20" (412 cm)	179.92" (457 cm)
投影距離		3.94' (1.2m)	9.8' (3.0m)	16.4' (5.0m)	23.0' (7.0m)	29.5' (9.0m)	32.81' (10.0m)
* この表はユーザーの参照用です。							

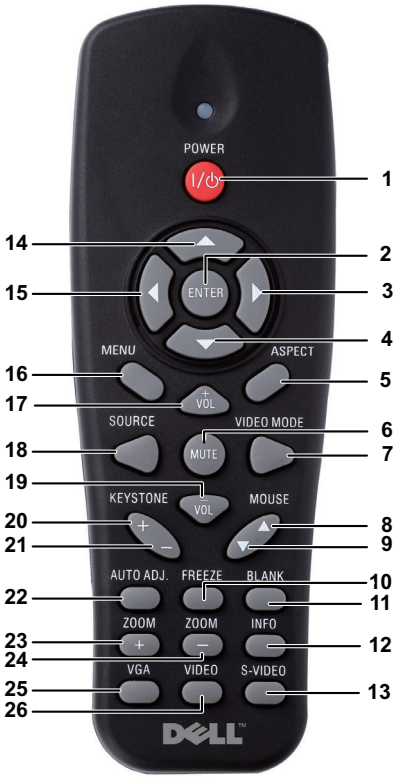
コントロールパネルの使用方法



1	ランプ警告ライト	LAMP の黄色のインジケータが点灯または点滅している場合、次の問題のどれかが原因と思われます。 • ランプがその耐用年数の終わりに達した • ランプモジュールを適切に取り付けていない • ランプドライバが故障している • カラーホイールが故障している 詳しくは、ページ 61 の「プロジェクタのトラブルシューティング」およびページ 65 の「ガイド信号」を参照してください。
2	温度警告ライト	TEMP の黄色のインジケータが点灯または点滅している場合、次の問題のどれかが原因と思われます。 • プロジェクタの内部温度が高すぎる • カラーホイールが故障している 詳しくは、ページ 61 の「プロジェクタのトラブルシューティング」およびページ 65 の「ガイド信号」を参照してください。
3	電源	プロジェクタの電源のオン / オフを切り替えます。詳しくは、ページ 19 の「プロジェクタの電源を入れる」およびページ 19 の「プロジェクタの電源を切る」を参照してください。
4	上 / キーストーン調整	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー項目をナビゲートします。 ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。
5	右自動調整	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー項目をナビゲートします。 このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。 **メモ：オンスクリーンディスプレイ（OSD）が表示されている場合は、自動調整は作動しません。**
6	IR レシーバ	リモコンを IR レシーバに向けてボタンを押します。

7	ダウン / キーストーン調整	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー項目をナビゲートします。 ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。
8	メニュー	このボタンを押して OSD を起動します。方向キーと**メニュー**ボタンで OSD をナビゲートします。
9	左 / ソース	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー項目をナビゲートします。 複数ソースがプロジェクタに接続されている場合には、このボタンを押して、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント（YPbPr、VGA 経由）、HDMI、S ビデオソースを切り替えます。
10	エンター	このボタンを押して選択項目を確定します。

リモコンの使用方法



1	電源	プロジェクタの電源のオン / オフを切り替えます。詳しくは、ページ 19 の「プロジェクタの電源を入れる」およびページ 19 の「プロジェクタの電源を切る」を参照してください。
2	エンター	このボタンを押して選択を確定します。
3	右	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー項目をナビゲートします。
4	ダウン	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー項目をナビゲートします。

5	縦横比	このボタンを押して、表示された画像のアスペクト比を変更します。
6	消音	このボタンを押して、プロジェクタのスピーカーを消音にしたり消音を解除します。
7	ビデオモード	プロジェクタには、データ（プレゼンテーションスライド）やビデオ（映画、ゲームなど）の表示に最適なプリセット設定があります。**ビデオモード**ボタンを押して**プレゼンテーションモード**、**ブライトモード**、**映画モード**、**sRGB**、または**カスタムモード**を切り替えます。**ビデオモード**ボタンを 1 回押すと、現在の表示モードが表示されます。もう一度**ビデオモード**ボタンを押すと、モードが切り替わります。
8	マウス上 △	このボタンを押して前のページへ移動します。 **メモ：**ページ上機能を使用する場合、USB ケーブルを接続する必要があります。
9	マウス下 ▽	このボタンを押して次のページへ移動します。 **メモ：**ページ下機能を使用する場合、USB ケーブルを接続する必要があります。
10	フリーズ	このボタンを押して画面の画像を一時停止します。
11	ブランク画面	このボタンを押して、画像を表示したり非表示にします。
12	情報	このボタンを押して、プロジェクタのネーティブ解像度情報を表示します。
13	S ビデオ	このボタンを押して S ビデオソースを選択します。
14	上	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー項目をナビゲートします。
15	左	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー項目をナビゲートします。
16	メニュー	このボタンを押して OSD を起動します。
17	音量アップ	このボタンを押して音量を上げます。

18	ソース	このボタンを押して、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント（YPbPr、VGA 経由）、HDMI、S ビデオソースを切り替えます。
19	音量ダウン	このボタンを押して音量を下げます。
20	キーストーン調整 +	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。
21	キーストーン調整 -	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。
22	自動調整	このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。OSD が表示されている場合は、自動調整は動作しません。
23	ズーム +	このボタンを押して画像を上げます。
24	ズーム -	このボタンを押して画像を下げます。
25	VGA	このボタンを押して VGA ソースを選択します。
26	ビデオ	このボタンを押してコンポジットビデオソースを選択します。

リモートコントロールバッテリの取り付け

メモ: 使用していないときは、リモコンからバッテリを取り外してください。

1 タブを押してバッテリ収納部のカバーを持ち上げます。

2 バッテリの極性 (+/-) のマークをチェックします。

3 バッテリ収納部のマークに従って極性が合うように、バッテリを挿入します。

メモ: 異なる種類のバッテリを混合したり、新しいものと古いものを一緒に使用することを避けてください。

4 バッテリカバーを元に戻します。

リモコンの動作範囲

メモ:実際の動作範囲は、図とわずかに異なることがあります。バッテリ残量が少ない場合も、リモコンでプロジェクタを適切に操作できない原因となります。

オンスクリーンディスプレイの使用方法

- プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューがあり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。
- メインメニューのタブの間を移動するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの < ボタンまたは > ボタンを押します。
- サブメニューを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルの ✓ ボタン、またはリモコンの**エンター**ボタンを押します。
- オプションを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの ∧ または ∨ ボタンを押します。色が濃い青色になります。項目を選択すると、色が濃い青色になります。
- コントロールパネルまたはリモコンの < または > ボタンを使って設定を調整します。
- メインメニューに戻るには、「戻る」タブに進み、コントロールパネルの ✓ ボタンまたはリモコンの Enter ボタンを押します。
- OSD を終了するには、「終了」タブに進み、✓ ボタンを押すか、または、コントロールパネルの [メニュー] ボタンを押すかリモコンの**エンター**ボタンを押します。

メモ：リモコンの ✓ ボタンの代わりにエンターボタンを押すと、リモートに ✓ マークは表示されません。

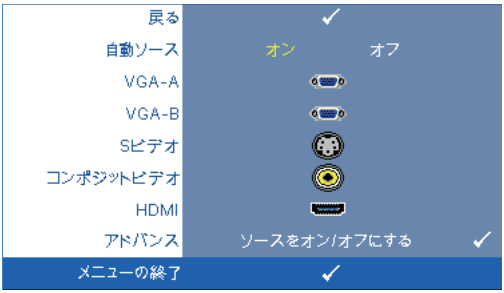
メインメニュー

自動調整

自動調整を使って、PC モードでプロジェクタの**周波数**と**トラッキング**を自動的に調整します。自動調整が進行中、次のメッセージが画面に表示されます：

入力選択

入力選択メニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。



自動ソース —オフ（デフォルト）を選択して、現在の入力信号をロックします。**自動ソース**モードをオフに設定した状態で**ソース**ボタンを押すと、入力信号を手動で選択できます。**オン**を選択すると、使用可能な入力信号を自動検出します。プロジェクタの電源が入った状態で**ソース**ボタンを押すと、次の使用可能な入力信号を自動検出します。

VGA-A—コントロールパネルの✓を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、VGA-A 信号を検出します。

VGA-B—コントロールパネルの✓を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、VGA-B 信号を検出します。

S ビデオ —コントロールパネルの✓を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、S ビデオ信号を検出します。

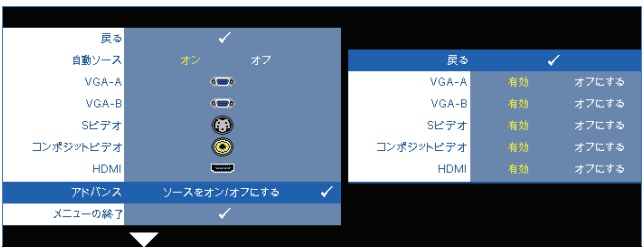
コンポジットビデオ —コントロールパネルの✓を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、コンポジットビデオ信号を検出します。

HDMI—コントロールパネルの✓を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、HDMI 信号を検出します。

アドバンス —コントロールパネルの✓を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、**入力選択の詳細設定**メニューを起動します。

入力選択の詳細設定

[入力選択の詳細] により、入力ソースの有効 / 無効を切り替えることができます。



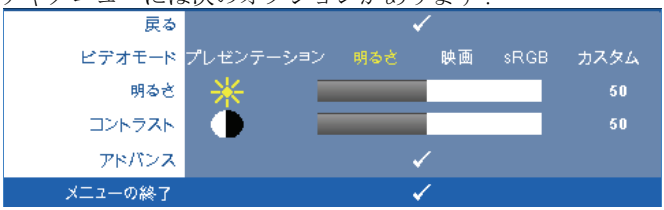
VGA-A—< および > を使用して、VGA-A 入力の有効 / 無効を切り替えます。

VGA-B—< および > を使用して、VGA-B 入力の有効 / 無効を切り替えます。
S ビデオ —< および > を使用して、S ビデオ入力の有効 / 無効を切り替えます。
コンポジットビデオ —< および > を使用して、コンポジットビデオ入力の有効 / 無効を切り替えます。
HDMI—< および > を使用して、HDMI 入力の有効 / 無効を切り替えます。

メモ : 現在の入力ソースを無効にすることはできません。常に、2 つ以上の入力ソースを有効にする必要があります。

ピクチャ（PC モード）

ピクチャメニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります :



ビデオモード —ディスプレイの画像を最適化します : **プレゼンテーション**、**明るさ**、**映画**、**sRGB**（より精密な色を提供します）、**カスタム**（お好みの設定を設定します）。**明るさ**、**コントラスト**、**彩度**、**鮮明度**、**色合い**、**アドバンス**に対して設定を調整すると、プロジェクタは**カスタム**に自動的に切り替わります。

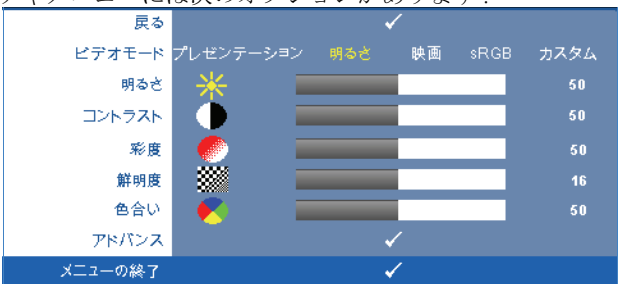
メモ : 明るさ、コントラスト、彩度、鮮明度、色合い、アドバンスに対して設定を調整すると、プロジェクタは**カスタム**に自動的に切り替わります。

明るさ —<や>を使って画像の明るさを調整します。
コントラスト —<や>を使ってディスプレイのコントラストを調整します。

アドバンス —コントロールパネルの✓を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、**ピクチャアドバンス**メニューを起動します。ページ 35 の「高度なピクチャ」をご覧ください。

ピクチャ（ビデオモード）

ピクチャメニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります：



ビデオモード —ディスプレイの画像を最適化します：**プレゼンテーション**、**明るさ**、**映画**、**sRGB**（より精密な色を提供します）、**カスタム**（お好みの設定を設定します）。**明るさ**、**コントラスト**、**彩度**、**鮮明度**、**色合い**、**アドバンス**に対して設定を調整すると、プロジェクタは**カスタム**に自動的に切り替わります。

メモ：明るさ、コントラスト、彩度、鮮明度、色合い、アドバンスに対して設定を調整すると、プロジェクタは**カスタム**に自動的に切り替わります。

明るさ —<や>を使って画像の明るさを調整します。

コントラスト —<や>を使ってディスプレイのコントラストを調整します。

彩度 —ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整します。<を押して画像の色の量を減らし、>を押して色の量を増やします。

鮮明度 —<を押して鮮明度を下げ、>を押して鮮明度を上げます。

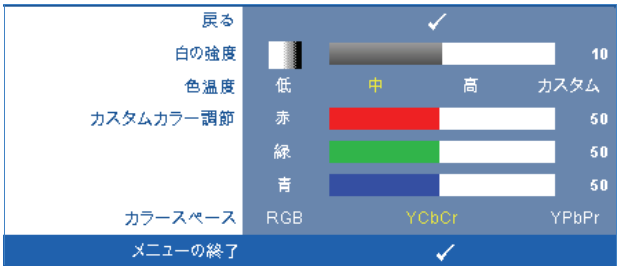
色合い —<を押して画像の緑色の量を増やし、>を押して赤色の量を増やします（NTSC 用にのみ使用可能）。

アドバンス —コントロールパネルの✓を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、**ピクチャアドバンス**メニューを起動します。以下の「高度なピクチャ」をご覧ください。

メモ：彩度、鮮明度、色合いは、入力ソースがコンポジットや S ビデオから出ている場合のみ使用可能です。

高度なピクチャ

[高度なピクチャ] メニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。[高度なピクチャ] メニューには次のオプションがあります。



白の強度 —< と > を使ってディスプレイの白の強度を調整します。

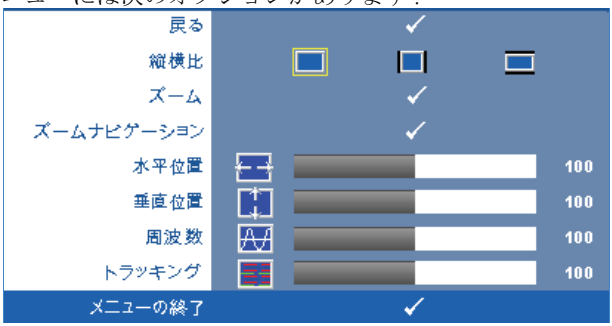
色温度 —色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。**色調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが起動します。値はカスタムモードで保存されます。

カスタムカラー調節 —赤、緑、青の色を手動で調整します。

カラースペース —カラースペースを選択できます。オプションには RGB YCbCr、および YPbPr があります。

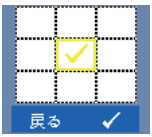
表示（PC モード）

表示メニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります :



縦横比 —アスペクト比を選択して画像の表示方法を調整します。

- オリジナル — オリジナルを選択して入力ソースに従って投影画像のアスペクト比を維持します。
- 4:3 — 入力ソースを調整して画面に合わせ、4:3 画像を投影します。
- ワイド — 入力ソースを調製して画面の幅に合わせ、ワイドスクリーン画像を投影します。



ズーム —コントロールパネルの を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、**ズーム**メニューを起動します。

領域を選択し、コントロールパネルの を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、ズーム画像を表示します。

または を押して画像の拡大縮小を調整し、コントロールパネルの を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して表示します。

ズームナビゲーション —コントロールパネルの を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、**ズームナビゲーション**メニューを起動します。

を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。

水平位置 — を押して画像を左へ移動し、 を押して画像を右へ移動します。

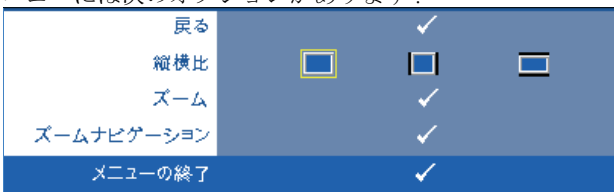
垂直位置 — を押して画像を下へ移動し、 を押して画像を上へ移動します。

周波数 —ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックスカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、**周波数**コントロールを使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。

トラッキング —ディスプレイ信号の位相をグラフィックスカードと同期化します。画像が不安定だったり、ちらつく場合は、**トラッキング**を使って修正します。これは微調整です。

表示（ビデオモード）

表示メニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります：

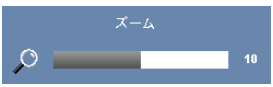


縦横比 —アスペクト比を選択して画像の表示方法を調整します。

- オリジナル — オリジナルを選択して入力ソースに従って投影画像のアスペクト比を維持します。
- 4:3 — 入力ソースを調整して画面に合わせ、4:3 画像を投影します。
- ワイド — 入力ソースを調製して画面の幅に合わせ、ワイドスクリーン画像を投影します。

ズーム —コントロールパネルの を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、**ズーム**メニューを起動します。

領域を選択し、コントロールパネルの を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、ズーム画像を表示します。



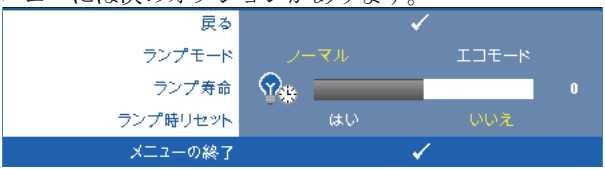
または を押して画像の拡大縮小を調整し、コントロールパネルの を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して表示します。

ズームナビゲーション —コントロールパネルの を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、**ズームナビゲーション**メニューを起動します。

を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。

ランプ

ランプメニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ランプメニューには次のオプションがあります。



ランプモード —ノーマルとエコモード間で選択します。

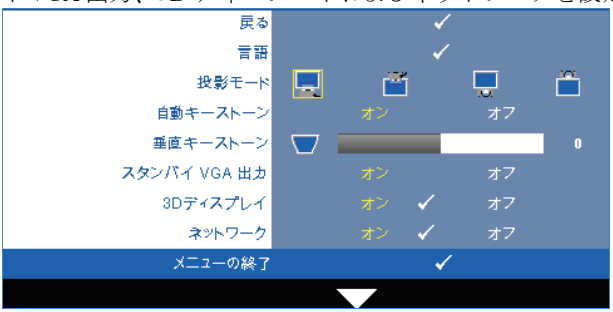
ノーマルモードは、全出力レベルで作動します。ECO モードは低電力レベルで作動するため、ランプの寿命が延び、操作が静かになり、また、画面上のルミナンス出力が弱くなります。

ランプ寿命 —最後にランプタイマーをリセットしてからの経過時間を表示します。

ランプ時リセット —はいを選択して、ランプタイマーをリセットします。

設定

[セットアップ] メニューでは言語、投影モード、キーストーン、スタンバイ VGA 出力、3D ディスプレイおよびネットワークを設定します。



言語 —OSD 用の言語を設定します。コントロールパネルの を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、**言語**メニューを起動します。

投影モード —プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。

- デスクトップ前面投影 — これは初期設定オプションです。
- 前面投影 — 天井取り付け — 天井取り付けで投影する場合に、プロジェクタが画像を上下逆にします。
- デスクトップ背面投影 — プロジェクタは画像を反転表示します。透過画面の裏面から投影することができます。
- 背面投影 — 天井取り付け — プロジェクタは画像を反転表示し、上下逆にします。天井取り付けで透過画面の裏面から投影できます。

自動キーストーン —**オン**を選択すると、プロジェクタを傾けたことに起因する垂直画像のゆがみを自動補正します。

垂直キーストーン —プロジェクタを傾けた場合の画像の垂直歪みを手動で調整します。

スタンバイ VGA 出力 —オンまたはオフを選択すると、VGA 出力はプロジェクタのスタンバイステータスで機能します。初期設定はオフです。

3D ディスプレイ —オンを選択して 3D ディスプレイ機能を起動します。初期設定はオフです。

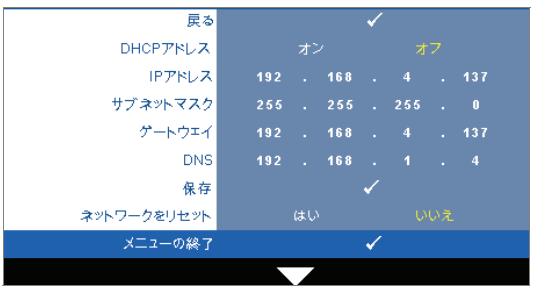
メモ : 3D ディスプレイ機能を起動するには、PC/NB でサポートされている 3D メガネ、3D ビデオコンテンツおよび 60Hz/120Hz 信号出力グラフィックカードの準備ができていることを確認します。

3D 同期反転 —DLP 3D メガネをかけている間、離散的画像または重なり画像が見える場合、「反転」を実行して左右画像シーケンスのベストマッチを得て正しい画像が見えるようにします。(DLP 3D メガネの場合)

ネットワーク —オンを選択すると、ネットワーク機能が起動します。コントロールパネルの を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、ネットワーク設定を構成します。

ネットワーキング

[ネットワーク] メニューでは、ネットワークの接続設定を設定します。



DHCP アドレス —DHCP サーバーがプロジェクタが接続されるネットワークに存在する場合、IP アドレスは DHCP **オン**を選択するとき自動的に取得されます。DHCP が**オフ**の場合、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定します。 を使用して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの番号を選択します。Enter を入力して各番号を確認し、 を使用して次の項目を設定します。

IP アドレス —IP アドレスをネットワークに接続されたプロジェクタに自動または手動で割り当てます。

サブネットマスク —ネットワーク接続のサブネットマスクを設定します。

ゲートウェイ —ゲートウェイを手動で設定する場合、ゲートウェイアドレスをネットワーク / システム管理者でチェックします。

DNS—DNS を手動で設定する場合、DNS サーバー IP アドレスをネットワーク / システム管理者でチェックします。

保存 —コントロールパネルの を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、ネットワーク設定で変更を行います。

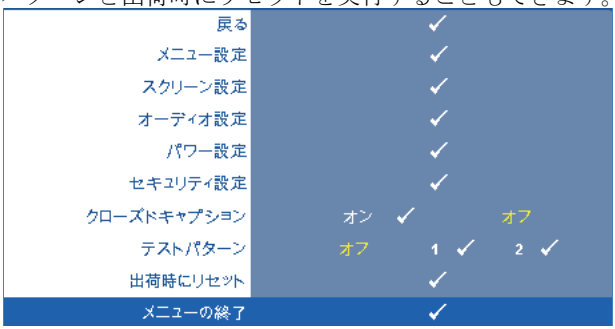
ネットワークをリセット —**はい**を選択して、ネットワーク設定をリセットします。

情報

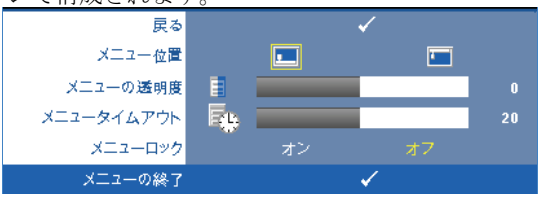
[情報] メニューには、現在のプロジェクタ設定が表示されます。

その他

[その他] メニューでは、メニュー、画面、オーディオ、電源、セキュリティ、クローズドキャプションの設定を変更します（NTSC のみ）。テストパターンと出荷時にリセットを実行することもできます。



メニュー設定 —コントロールパネルの を選択して押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、メニュー設定を起動します。メニュー設定は、次のオプションで構成されます。



メニュー位置 —OSD メニューの画面上の位置を変更します。

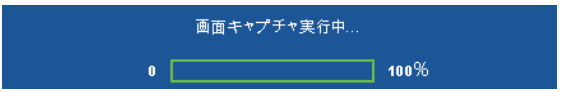
メニューの透明度 —OSD 背景の透明度レベルを変更します。

メニュータイムアウト —OSD タイムアウトの遅延時間を調整します。初期設定では、20 秒操作しないと OSD は非表示になります。

メニューロック —**オン**を選択するとメニューロックが有効になり、OSD メニューが非表示になります。**オフ**を選択するとメニューロックが解除されます。メニューロック機能を無効にして OSD を非表示にしたい場合は、コントロールパネルまたはリモコンの **メニュー**ボタンを 15 秒間押し、次に機能を無効にします。

スクリーン設定 —コントロールパネルの を選択して押すかリモコンのエンターボタンを押して、スクリーン設定を起動します。画面設定メニューは、次のオプションで構成されます。

スクリーンキャプチャ —コントロールパネルで を選択して押すかリモコンの**エンター**ボタンを押してスクリーンディスプレイをキャプチャすると、次のメッセージがスクリーンに表示されます。

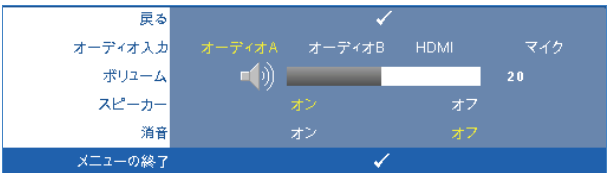


メモ：フル画像にするには、プロジェクタに接続している入力信号が 1024 x 768 解像度であることを確認します。

スクリーン —Dell を選択し、壁紙として Dell ロゴを使用します。**キャプチャ済み** を選択し、壁紙としてキャプチャされた画像を設定します。

リセット —コントロールパネルで✓を選択して押すかリモコンのエンターボタンを押してキャプチャした画像を削除し、デフォルト設定に戻します。

オーディオ設定 —コントロールパネルの✓を選択して押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、オーディオ設定を変更します。オーディオ設定メニューは、次のオプションで構成されます。



オーディオ入力 —オーディオ入力？オーディオ入力ソースを選択します。オーディオ - A、オーディオ -B、HDMI、マイクのオプションがあります。

ボリューム —<を押して音量を下げ、>を押して音量を上げます。

スピーカ —**オン**を選択してスピーカを有効にします。**オフ**を選択するとスピーカが無効になります。

消音 —オーディオ入力とオーディオ出力のサウンドを消音にします。

パワー設定 —コントロールパネルの✓を選択して押すかリモコンのエンターボタンを押して、電源設定を起動します。電源設定メ ニューは、次のオプションで構成されます。

省電力 —**オフ**を選択すると省電力モードは無効になります。デフォルトで、プロジェクタは 120 秒間動作しないと省電力モードに入ります。画面に、60 秒間のカウントダウンの後、省電力モードに切り替わるという警告メッセーが表示されます。カウントダウンの間にどれかのキーボタンを押すと、省電力モードは停止します。

省電力モードに入る遅延時間は、他にも設定できます。遅延時間は、入力信号がない状態でプロジェクタが待機する時間です。省電力は 30 分、60 分、90 分、120 分に設定できます。

遅延時間内に入力信号が検出されない場合は、プロジェクタはランプをオフにして、省電力モードになります。遅延時間内で入力信号が検出されると、プロジェクタは自動的にオンになります。省電力モー

ドの間 2 時間入力信号が検出されない場合は、プロジェクタは省電力モードから電源オフモードに切り替わります。プロジェクタの電源を入れるには電源ボタンを押します。

クイックシャットダウン —はい を選択し、**電源**ボタンを一回押してプロジェクタの電源を切ります。この機能で、ファンの速度を上げてプロジェクタの電源を素早く切ります。クイック電源オフの際には、幾分大きいノイズがあります。

メモ : プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで 60 秒待ちます。直ちに電源をオンにしようとすると、電源がオンになるまでより時間がかかります。その冷却ファンは約 30 秒間全速力で作動し、内部温度を安定します。

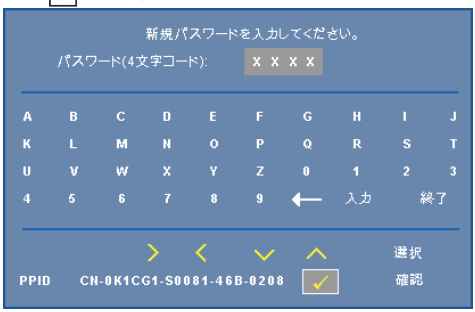
セキュリティ設定 —コントロールパネルの✓を選択して押すかリモコンの**エンター**ボタンを押して、セキュリティ設定を起動します。セキュリティ設定メニューにより、パスワード保護を有効にしたり設定 したりできます。

パスワード —パスワード保護が有効になっている場合は、電源プラグをコンセントに挿入し、プロジェクタの電源が初めて入ると、パスワードの入力を求めるパスワード保護画面が表示されます。初期設定ではこの機能は無効です。**有効**を選択することで、この機能を有効にできます。パスワードを前に設定している場合、まずパスワードを入力してから機能を選択します。このパスワードセキュリティ機能は、次回プロジェクタをオンにすると起動します。この機能を有効にすると、プロジェクタの電源を入れるとパスワードの入力が求められます。

1 初回パスワード入力の要請

a **その他**メニューに進み、コントロールパネルで を押すか、リモコンの**エンター**ボタンを押して、**パスワード**を選択してパスワード設定を**有効**にします。

b パスワード機能を有効にすると、文字画面がポップアップ表示されます。4 桁の番号を画面から入力しコントロールパネルで を押すかリモコンの**エンター**ボタンを押します。



c 確認のため、パスワードをもう一度入力します。

d パスワードが認証されると、プロジェクタの機能とユーティリティにアクセスできます。

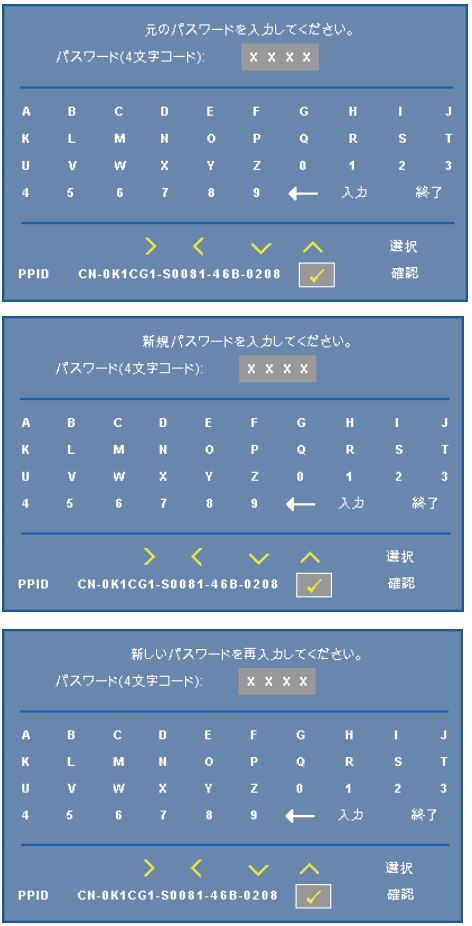
2 間違ったパスワードを入力した場合は、あと 2 回で正しいパスワードを入力する必要があります。3 回無効なパスワードを入力すると、プロジェクタは自動的にオフになります。

メモ：パスワードを忘れた場合は、DELL™ または正規サービス技術者までご連絡ください。

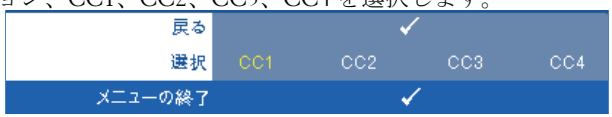
3 パスワード機能を無効にするには、**オフ**を選択して機能を無効にします。

4 パスワードを削除するには、**削除**を選択します。

パスワードの変更 —元のパスワードを入力し、次に新規パスワードを入力します。新規パスワードをもう一度入力して確認します。



クローズドキャプション —**オン**を選択してクローズドキャプションを有効にし、クローズドキャプションメニューを起動します。適切なクローズドキャプション、CC1、CC2、CC3、CC4 を選択します。

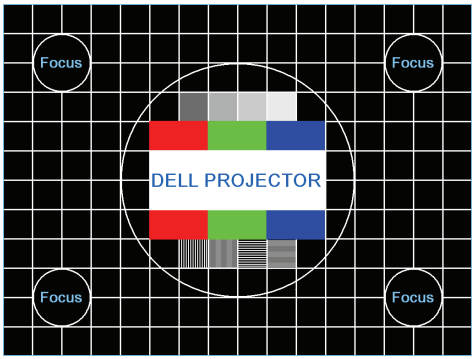


メモ:クローズドキャプションのオプションは、NTSC でのみ使用できます。

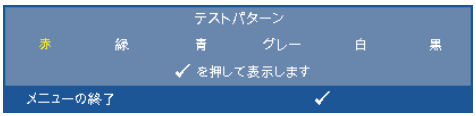
テストパターン —テストパターンは、フォーカスと解像度をテストするために使用されます。

オフ、1 または 2 を選択することで、**テストパターン** の有効 / 無効を切り替えることができます。コントロールパネルの と ボタンを 2 秒間同時に押し続けることで、**テストパターン** 1 を呼び起こすこともできます。コントロールパネルの と ボタンを 2 秒間同時に押し続けることで、テストパターン 2 を呼び起こすこともできます。

テストパターン 1:



テストパターン 2:



出荷時にリセット —コントロールパネルで を選択して押すかリモコンの **エンター**ボタンを押してすべての設定を出荷時デフォルトにリセットすると、以下のメッセージが表示されます。

コンピュータソースやビデオソース設定もリセットされます。

Web 管理からプロジェクタの管理

セットワーク設定の設定

プロジェクタがネットワークに接続されている場合、ネットワーク設定 (TCP/IP) を設定することで、Web ブラウザを使用してプロジェクタにアクセスできます。ネットワーク機能を使用するとき、IP アドレスは一意にする必要があります。ネットワーク設定を行う場合、ページ 40 の「ネットワーキング」を参照してください。

Web 管理にアクセスする

Internet Explorer 5.0 以降または Firefox 1.5 以降を使用して、IP アドレスを入力します。これで Web 管理にアクセスし、リモートの場所からプロジェクタを管理できるようになりました。

プロジェクタの管理

ホーム

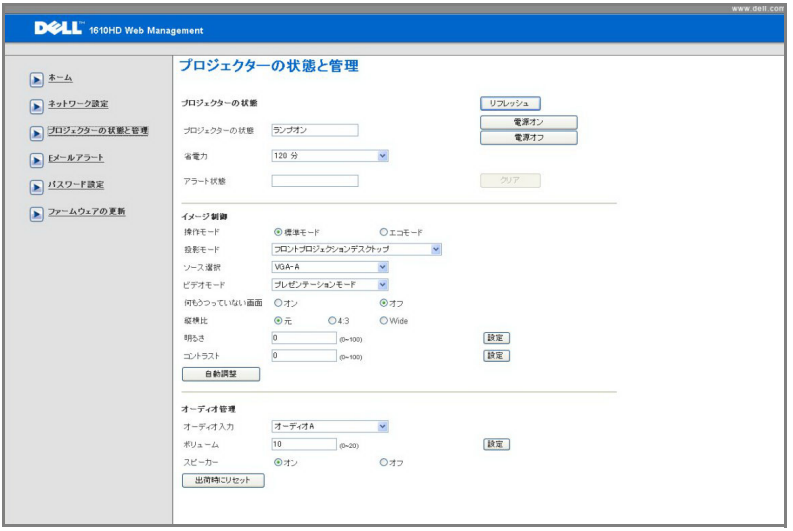
- Web ブラウザにプロジェクタの IP アドレスを入力することで、Web 管理ホームページにアクセスします。ページ 40 の「ネットワーキング」をご覧ください。
- **言語**：Web 管理用の言語を設定します。

ネットワーク設定

ページ 40 の OSD セクションを参照してください。

- **モデル名**、**プロジェクタ名**、**場所**、**連絡先**情報を設定します (各フィールドに対して最大 21 文字)。**保存**を押して設定を保存します。
- DHCP を選択して DHCP サーバからプロジェクタに IP アドレスを自動的に割り当てるか、**手動**を選択して IP アドレスを手動で割り当てます。

プロジェクタステータスとコントロールページ



- **プロジェクタの状態**：ランプオン、スタンバイ、省電力、冷却、ウォームアップの 5 つのステータスがあります。**リフレッシュ**ボタンをクリックして、ステータスとコントロール設定を更新します。
- **省電力**：省電力は オフ、30 分、60 分、90 分、120 分に設定できます。ページ 43 を参照してください。
- **アラート状態**：ランプ警告、少ないランプ寿命、温度警告の、3 つのエラーステータスがあります。プロジェクタは、警報が有効になっている場合、保護モードにロックされます。保護モードを終了するには、**消去**ボタンをクリックしてアラート状態を消去してから、プロジェクタの電源をオンにします。
- **投影モード**：プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。投影モードには、デスクトップ前面投影、前面投影 - 天井取り付け、デスクトップ背面投影、背面投影 - 天井取り付けの 4 つのモードがあります。
- **ソース選択**：ソース選択メニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。**VGA-A**、**VGA-B**、**S- ビデオ**、**コンポジットビデオ**、**HDMI** から選択できます。
- **ビデオモード**：プロジェクタを使用する方法に基づいて、ディスプレイ画像を最適化するモードを選択します：

  - **プレゼンテーション**：プレゼンテーションスライドに最適です。

- **明るさ** : 最大の明るさとコントラスト

- **映画** : 映画と写真の表示用です。

- sRGB: より正確なカラープレゼンテーションを提供します。

- **カスタム :** お好みの設定です。

- **何もうつっていない画面**：オンまたはオフを選択できます。
- **縦横比**：アスペクト比を選択して画像の表示方法を調整します。
- **明るさ**：値を選択して画像の明るさを調整します。
- **コントラスト**：値を選択してディスプレイのコントラストを調整します。
- **オーディオ入力**：入力ソースにはオーディオ -A、オーディオ -B、HDMI、マイクを選択できます
- **ボリューム**：オーディオボリュームには、値（0 ～ 20）を選択できます
- **スピーカ**：オンを選択してオーディオ機能を有効にしたり、オフを選択してオーディオ機能を無効にしたりできます。

E メールアラート

- **E メールアラート**：E メールで通知を受け取るか（有効）、または受け取らない（無効）かを設定できます。
- **宛先** /CC/ **発信元**：異常または警告が発生した場合、通知を受信する送信者（発信元）と受信者（宛先 /Cc）の E メールアドレスを入力できます。
- **警報条件**：E メールで通知する異常や警告を選択できます。どれかの警報条件が発生したとき、E メールが受信者（宛先 /Cc）に送信されます。
- **送信 SMTP サーバー**、**ユーザー名**および**パスワード**はネットワーク管理者または MIS から提供される必要があります。

パスワード設定

パスワード設定を使って管理者パスワードをセットアップし、**Web 管理**にアクセスします。初めてパスワードを有効にするとき、その前にパスワードを設定してください。パスワード機能が有効になると、**Web 管理**にアクセスするには管理者パスワードが必要となります。

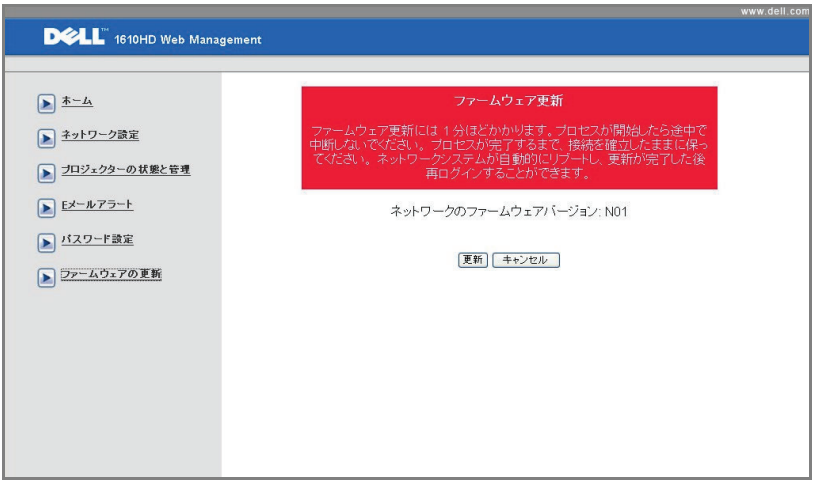
- **新規パスワード**：新しいパスワードの入力
- **パスワードの確認**：パスワードを再入力して、送信します
- **書き込みコミュニティ**：SNMP 用にセキュリティを設定します。パスワードを入力して、送信します

メモ：管理者パスワードを忘れた場合、Dell にご連絡ください。

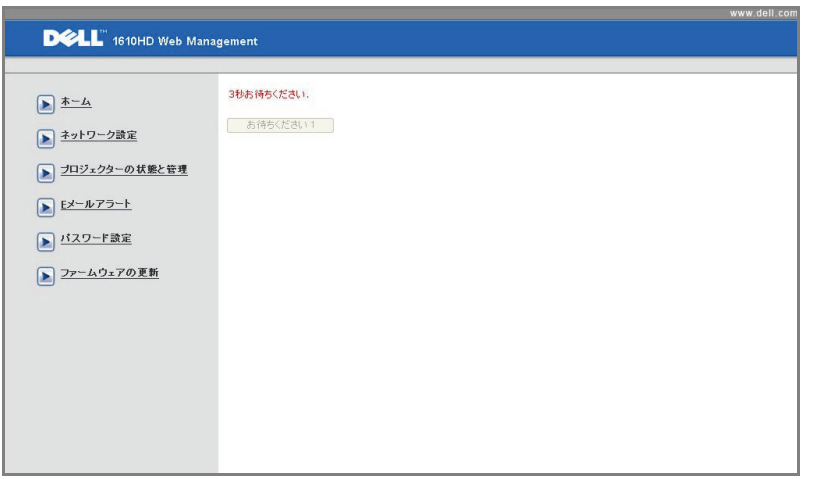
ログインページ

- **管理者パスワード**：管理者パスワードを入力して、ログインをっくりっくします。

ファームウェア更新



ファームウェアの更新ページを使って、プロジェクタのファームウェアを更新します。**更新**を開始します。



- カウントが 0 になるまでお待ちください。

- 3 秒間待つと、次のステップに自動的に進みます。

- アップグレードするファイルを選択し、**アップグレード**ボタンをクリックします。アップグレードが進行中、**キャンセル**ボタンは無効になります。

- カウントが 0 になるまでお待ちください。

- アップグレードが完了したら、**再ログイン** ボタンをクリックして Web 管理ホームページに戻ってください。

ヒント:

インターネット経由でプロジェクタにリモートでアクセスするつもりです。ブラウザをどのように設定すればいいのでしょう?

ブラウザを最適の状態で設定するには、以下のステップに従ってください。

1 **コントロールパネル → インターネットオプション → 全般**タブ**→ インターネット一時ファイル → 設定 →ページのすべての訪問者**を選択します。

2 一部のファイアウォールやアンチウイルスが HTTP アプリケーションをブロックすることがあります。可能な場合、ファイアウォールやアンチウイルスをオフにしてください。

インターネット経由でプロジェクタにリモートでアクセスするつもりです。そのためには、どのソケットポート番号をファイアウォールで開くべきですか?

次は、プロジェクタが使用する TCP/IP ソケットポートです。

UDP/TCP	ポート番号	説明
TCP	80	Web 設定 (HTTP)
UDP/TCP	25	SMTP: メールサーバー間で E メールルーティングに使用します
UDP/TCP	161	SNMP: 簡易ネットワーク管理プロトコル
UDP	9131	AMX: AMX ディレクトリに使用します

インターネットを介してプロジェクタにアクセスできないのは、どうしてですか?

1 コンピュータ / ノート PC がインターネットに接続されているかどうか、確認してください。

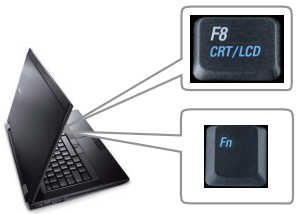
2 コンピュータ / ノート PC が同じサブネットに有るかどうか、MIS またはネットワーク管理者にお問い合せください。

SMTP サーバーにアクセスできないのは、どうしてですか ?	1 SMTP サーバー機能がプロジェクタに対して開いており、プロジェクタに割り当てられた IP が SMTP サーバーへのアクセスを許可されているかどうか、MIS またはネットワーク管理者にお問い合せください。プロジェクタの SMTP ソケットポート番号は 25 で、これを変更することはできません。 2 送信 SMTP サーバー、ユーザー名、パスワードが正しく設定されているか、確認してください。 3 SMTP サーバーには、「発信元」のメールアドレスが「ユーザー名」と「パスワード」に相互に関連付けられているかどうかを確認するものもあります。例えば、「発信元」のメールアドレスとして test@dell.com を使用します。SMTP サーバーにログインするユーザー名とパスワードに対して、test@dell.com アカウント情報を使用する必要もあります。
プロジェクタがテストメールの送信されたことをすでに示しているのに、メール警報テストを受信できないのはどうしてですか ?	SMTP サーバーが警報メールをスパムメールとして認識しているか、SMTP サーバーの制約が原因となっていると思われます。SMTP サーバーの設定については、MIS またはネットワーク管理者にお問い合せください。

4

プロジェクタのトラブルシューティング

プロジェクタに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。ページ 74 で「Dell™ へのお問い合わせ」をご覧ください。

問題	解決方法
画面に画像が表示されない。 	• レンズキャップを外して、プロジェクタの電源が入っていることを確認します。 • [入力選択] メニューで、正しい入力ソースを選択していることを確認してください。 • 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。Dell™ ノートパソコンをご使用の場合は Fn + F8 CRT/LCD (Fn+F8) を押します。その他のコンピュータについては、それぞれの取扱説明書をお読みください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。 • すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。ページ 9 の「プロジェクタの接続」をご覧ください。 • コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。 • ランプがしっかりと取り付けられているかどうか確認してください（ページ 67 の「ランプの交換」をご覧ください）。 • **プレファレンス**メニューの**その他**を使ってください。テストパターンの色が正しいことを確認します。

問題 *（続く）*	解決方法 *（続く）*
入力ソースが見つかりません。特定の入力ソースに切り替えることができません。	[高度なソースの有効 / 無効] に進み、特定の入力ソースが [有効] に設定されていることを確認します。
画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない。	1 リモコンまたはコントロールパネルの**自動調整**ボタンを押します。 2 Dell™ ノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度を WXGA (1280 x 800) または XGA (1024 x 768) に設定します。 a Microsoft® Windows® デスクトップの空白部分を右クリックし、**プロパティ**をクリックし、**設定**タブを選択します。 b 外部モニターポートの設定が 1280 x 800 または 1024 x 768 ピクセルになっていることを確認します。 c Fn Fn CRT/LCD (Fn+F8) を押します。 解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクタを再起動します。 Dell™ ノートパソコンをご使用でない場合は、取扱説明書をお読みください。コンピュータからくる出力信号が業界標準に従っていません。この場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードします。Dell コンピュータの場合、**support.dell.com** を参照してください。
画面にプレゼンテーションが表示されない。	ノートパソコンをお使いの場合は、Fn Fn CRT/LCD (Fn+F8) を押します。
画像が不安定、または、ちらつく。	OSD **表示**サブメニューでトラッキングを調整します（PC モードのみ）。
画像に縦線が入る。	OSD **表示**サブメニューで周波数を調整します（PC モードのみ）。

問題 *（続く）*	解決方法 *（続く）*
画像の色が正しくない。	• ディスプレイがグラフィックスカードから間違った信号出力を受信する場合は、OSD **表示** タブで信号の種類を **RGB** に設定してください。 • **プレファレンス**メニューの**その他**を使ってください。テストパターンの色が正しいことを確認します。
画像の焦点が合わない。	**1** プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。 **2** 投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します（120.09 cm [1.2 m] ～ 1,000.05 cm [10 m]）。
16:9 DVD を表示すると画像が伸びる。	プロジェクタは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。 画像がそれでも伸びる場合、OSD の**設定**メニューで縦横比を調整してください。
画像が反転する。	OSD で **設定** を選択し、投影モードを調整します。
ランプが切れた、または、音がする。	ランプの寿命がなくなると、切れたり音がすることがあります。この場合は、プロジェクタの電源は入りません。ランプを交換するには、ページ 67 の「ランプの交換」を参照してください。
ランプライトがオレンジ色で点灯	**ランプ**ライトがオレンジ色で点灯する場合は、ランプを交換します。

問題 *（続く）*	解決方法 *（続く）*
ランプ ライトがオレンジ色で点滅	**ランプ**のライトがオレンジ色に点滅する場合、ランプモジュール接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。 **ランプ** と **Power** LED がオレンジ色に点滅している場合はランプ ドライバが失効し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。 **ランプ**および**温度**ライトがオレンジ色で点滅し、**電源** ライトが青色で点灯する場合は、カラーホイールが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。保護モードを消去するには、[電源] ボタンを 10 秒間押し続けます。
温度ライトがオレンジ色で点灯	プロジェクタが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。
温度 ライトがオレンジ色で点滅	プロジェクタのファンが故障し、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。**電源**ボタンを 10 秒間押し続けることで、プロジェクタモードを消去してみてください。5 分間待ってから、再び電源をオンにしてください。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。
OSD が画面に表示されない。	パネルにあるメニューボタンを 15 秒間押して OSD のロックを解除します。ページ 42 で**メニューロック**を確認します。
リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない。	電池の残量が少なくなっています。 レーザービームが弱い場合は、新しい単 4 電池 2 本と交換します。

ガイド信号

プロジェクタステータス	説明	コントロールボタン			インジケータ	
		電源	メニュー	その他	温度（オレンジ色）	ランプ（オレンジ色）
スタンバイモード	スタンバイモードのプロジェクタ。電源を入れる準備ができました。	青色点滅	オフ	オフ	オフ	オフ
ウォームアップモード	プロジェクタをウォームアップして電源を入れるまでしばらく時間が掛かります。	青色	青色	青色	オフ	オフ
ランプ点灯	通常モードのプロジェクタ。画像表示の準備ができました。 **メモ**：OSD メニューにアクセスしていません。	青色	青色	オフ	オフ	オフ
冷却モード	プロジェクタは冷却してシャットダウンします。	青色	オフ	オフ	オフ	オフ
省電力モード	省電力モードが有効です。2 時間以内に入力信号が検出されないと、プロジェクタは自動的にスタンバイモードになります。	オレンジ色点滅	オフ	オフ	オフ	オフ
省電力モード前の冷却	プロジェクタは、省電力モードになる前に 60 秒間冷却します。	オレンジ色	オフ	オフ	オフ	オフ
プロジェクタが過熱	通気口が塞がれているか、周囲温度が 35 ℃を超えていることが考えられます。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。通気口が詰まっておらず、周囲温度が動作範囲内にあることを確認します。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オフ	オフ	オレンジ色	オフ
ランプが過熱	ランプが過熱しています。通気口が詰まっていることが考えられます。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	青色	オフ	オフ	オレンジ色	オフ
ランプドライバが過熱	ランプドライバが過熱しています。通気口が詰まっていることが考えられます。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色	オフ	オフ	オレンジ色	オフ
ファンが故障しています	ファンの 1 つが故障しました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オフ	オフ	オレンジ色点滅	オフ
ランプドライバが故障しています	ランプドライバが故障しました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。3 分間待ってから電源コードの接続を外し、ディスプレイをもう一度オンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色点滅	オフ	オフ	オフ	オレンジ色点滅
カラーホイールが故障しています	カラーホイールは始動しません。プロジェクタが故障しました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。3 分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクタをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	青色	オフ	オフ	オレンジ色点滅	オレンジ色点滅

ランプが故障しています	ランプが故障しています。ランプを交換します。	オフ	オフ	オフ	オフ	オレンジ色
エラー - DC 供給（+12V）	電源供給が中断されました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。3 分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクタをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色 点滅	オフ	オフ	オレンジ色	オレンジ色
ランプモジュールの接続が失敗	ランプモジュールの接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オフ	オフ	オフ	オレンジ色 点滅

ランプの交換

警告 : この章で説明する交換処理の前に、ページ **7** にある「安全上のご注意」をお読みください。

次のメッセージが表示されたら、ランプを交換してください。**「ランプは全出力操作で耐用年数の終わりに近づいています。交換をお勧めします。www.dell.com/lamps」**というメッセージが画面に表示されたら、ランプを交換しましょう。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。詳しくは、「Dell™ へのお問い合わせ」ページ 74 をご覧ください。

警告 : オリジナルのランプを使用して、プロジェクタの安全で最適な作業環境を確実にしてください。

警告 : ランプは使用中は大変熱くなります。ランプを交換する前に、少なくとも **30** 分間プロジェクタを冷却します。

警告 : 電球やランプのガラスには絶対に触れないでください。プロジェクタのランプは壊れやすく、触れると破損することがあります。破損した鋭いガラスの破片で怪我をすることがあります。

警告 : ランプが壊れた場合は、破片をすべてプロジェクタから取り除き、州や地域、国の法律に従って廃棄またはリサイクルしてください。詳しくは **www.dell.com/hg** をご覧ください。

1 プロジェクタの電源を切り、電源コードの接続を外します。

2 プロジェクタを少なくとも 30 分間そのままにして冷却します。

3 ランプカバーを固定している 2 本のネジを緩めてカバーを取り外します。

4 ランプを固定している 2 本のネジを緩めます。

5 金属製のハンドルを持ってランプを取り出します。

メモ : Dell™ は、保証によって交換したランプの返却をお願いする場合がございます。その他の場合は、お近くのゴミ収集場所の住所について、お住まいの地域のゴミ処理担当機関までお問い合わせください。

6 新しいランプと交換します。

7 ランプを固定する 2 本のネジを締めます。

8 ランプカバーを元に戻して 2 本のネジを締めます。

9 OSD **ランプ**タブにある**ランプリセット**で「はい」を選択して、ランプ使用時間をリセットします (ページ 38 の [ランプ] メニューを参照してください)。新しいランプモジュールを変更すると、プロジェクタはランプ時間を自動的に検出しリセットします。

警告 : ランプの廃棄（米国のみ）

当製品内部のランプには水銀が含まれています。お住まいの地域、州および国の規定に従って廃棄してください。詳しくは、**WWW.DELL.COM/HG**、または、《米》エレクトロニクス産業協議会のウェブサイト **WWW.EIAE.ORG** をご覧ください。ランプ別の廃棄方法については **WWW.LAMPRECYCLE.ORG** をご覧ください。

5

仕様

ライトバルブ	0.65" WXGA S450 DMD、DarkChip3™
明るさ	3500 ANSI ルーメン（最大）
コントラスト比	2100:1 標準（フルオン / フルオフ）
均質性	85% 標準（日本規格 - JBMA（日本事務機械工業会））
画素数	1280 x 800 (WXGA)
表示可能な色	10.7 億色
カラーホイール速度	2X
投影レンズ	F ストップ : F/ 2.4～2.66 焦点距離、f=18.2～21.8 mm 1.2 倍マニュアルズームレンズ 投影比 =1.28～1.536 ワイドおよび望遠
投影画面サイズ	36.2-363 インチ（対角線）
投影距離	3.94～32.81 ft (1.2 m～10 m)
ビデオ互換性	コンポジットビデオ / S ビデオ : NTSC (J, M, 4.43), PAL (B, D, G, H, I, M, N, Nc, 60), SECAM (B, D, G, K, K1, L) コンポーネントビデオ (VGA & HDMI 経由) 1080i/p, 720p, 576i/p, 480i/p
電力供給	ユニバーサル AC 100-240 50-60 Hzz、PFC 入力付き
消費電力	通常モード：287W ± 10% @ 110Vac (ネットワークオン) 275W +/-10% @220Vac (ネットワークオン) エコモード：219W ± 10% @ 110Vac (ネットワークオン) 212W +/-10% @220Vac (ネットワークオン) 省電力モード：<15W (ネットワークオン、最低のファン速度) スタンバイモード：<1W (ネットワークオフおよび VGA_OUT オフ)

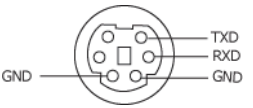
オーディオ	1 スピーカ x 8 ワット RMS
ノイズレベル	35 dB(A) ノーマルモード、32 dB(A) エコモード
質量	2.36 kg
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	296.5 x 87.9 x 202 +/- 1 mm

環境条件	動作温度 : 5ºC ～ 35ºC 湿度 : 80% 最大 保管温度 : 0ºC ～ 60ºC 湿度 : 90% 最大 輸送温度 -20ºC ～ 60ºC 湿度 : 90% 最大
I/O コネクタ	電源 : 1 つの AC 電源ソケット (3 ピン - C14 インレット) VGA 入力 2 つの 15 ピン D-sub コネクタ (青)、 VGA-A & VGA-B (アナログ RGB/ コンポーネント入力信号用) VGA 出力 : 1 つの 15 ピン D-sub コネクタ (黒) (VGA-A ループスルー用)。 S ビデオ入力 : 1 つの標準 4 ピン ミニ -DIN S ビデオコネクタ (Y/C 信号用)。 コンポジットビデオ入力 : 1 つの黄色 RCA ジャック (CVBS 信号用) HDMI 入力 : 1 つの HDMI コネクタ (HDMI 1.3 のサポート用)。HDCP 準拠。 アナログオーディオ入力 : 1 つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック (青) & 1 対の RCA コネクタ (赤 / 白)。 可変オーディオ出力 : 1 つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック (緑)。 USB ポート : リモートサポート用 USB スレーブ x 1。 RS232 ポート : 1 つの mini-DIN 6 ピン (RS232 通信用)。

	RJ45 ポート : 1 つの RJ45 コネクタ (ネットワークを経由したプロジェクタの用コントロール用) マイク : 1 つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック (ピンク)。
ランプ	Philips 225 ワットユーザ交換可能ランプ （エコモードで最大 4000 時間）

メモ : プロジェクタのランプ寿命定格は明るさの低下のみを測定し、ランプが故障し光の出力をやめるまでの時間を計る仕様ではありません。ランプの寿命は 50 パーセント以上のランプサンプル群が、指定されたランプに対して約 50 パーセントの定格ルーメンの明るさが減少するまでの時間として定義されます。ランプの寿命定格は、いかなる方法でも保証されません。プロジェクタランプの実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突然の電源遮断を含むストレスの多い条件で、長時間プロジェクタを使用すると、ランプの動作寿命が短くなったり、ランプが故障する原因となります。

RS232 ピン割り当て



RS232 プロトコル

- 通信設定

接続設定	値
ボーレート :	19200
データビット :	8
パリティ	なし
ストップビット	1

- **コマンドタイプ**

  OSD メニューをポップアップ表示して設定を調整します。
- **制御コマンド構文（PC からプロジェクタへ）**

  [H][AC][SoP][CRC][ID][SoM][COMMAND]
- **例** : 電源オンコマンド （ローバイトを最初に送信）

  --> 0xBE, 0xEF, 0x10, 0x05, 0x00, 0xC6, 0xFF, 0x11, 0x11, 0x01, 0x00, 0x01
- **制御コマンドのリスト**

  最新の RS232 コードについては、次の Dell Support サイトをごらんください : support.dell.com。

互換モード (アナログ / デジタル)

解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル • クロック (MHz)
640 x 350	70.087	31.469	25.175
640 x 480	59.940	31.469	25.175
640 x 480 p60	59.940	31.469	25.175
720 x 480 p60	59.940	31.469	27.000
720 x 576 p50	50.000	31.250	27.000
720 x 400	70.087	31.469	28.322
640 x 480	75.000	37.500	31.500
848 x 480	60.000	31.020	33.750
640 x 480	85.008	43.269	36.000
800 x 600	60.317	37.879	40.000
800 x 600	75.000	46.875	49.500
800 x 600	85.061	53.674	56.250
1024 x 768	60.004	48.363	65.000
1280 x 720 p50	50.000	37.500	74.250
1280 x 720 p60	60.000	45.000	74.250
1920 x 1080 i50	50.000	28.125	74.250
1920 x 1080 i60	60.000	33.750	74.250
1280 x 720	59.855	44.772	74.500
1024 x 768	75.029	60.023	78.750
1280 x 800	59.810	49.702	83.500
1366 x 768	59.790	47.712	85.500
1360 x 768	60.015	47.712	85.500
1024 x 768	84.997	68.677	94.500
1440 x 900	59.887	55.935	106.500
1152 x 864	75.000	67.500	108.000
1280 x 960	60.000	60.000	108.000
1280 x 1024	60.020	63.981	108.000
1152 x 864	85.000	77.095	119.651
1400 x 1050	59.978	65.317	121.750
1280 x 800	84.880	71.554	122.500
1280 x 1024	75.025	79.976	135.000
1440 x 900	74.984	70.635	136.750
1680 x 1050	59.954	65.290	146.250
1280 x 960	85.002	85.938	148.500
1920 x 1080	60.000	67.500	148.500
1400 x 1050	74.867	82.278	156.000
1280 x 1024	85.024	91.146	157.000
1440 x 900	84.842	80.430	157.000
1600 x 1200	60.000	75.000	162.000

Dell へのお問い合わせ

米国内のお客様は 800-WWW-DELL（800-999-3355）までご連絡ください。

メモ：インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、または Dell 製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

Dell™ では、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関する Dell へのお問い合わせ：

1. **support.dell.com** をご覧ください。
2. ページの一番下にある **Choose A Country/Region（国 / 地域を選択する）**ドロップダウンメニューで、お住まいの国または地域を確認します。
3. ページの左側にある **Contact Us（連絡する）**をクリックします。
4. 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。
5. Dell への連絡方法を選択します。

付録 : 用語集

ANSI ルーメン — 明るさの単位です。1 平方メートルの画像を、9 つの同じ長方形に分割し、各長方形の中心のルクス（または明るさ）を測定して、9 つの点の平均値を求めて算出します。

縦横比 — 最も一般的な縦横比は 4:3（4 x 3）です。旧式のテレビやコンピュータビデオの形式は 4:3 縦横比です。つまり、画像の幅は画像の高さの 4/3 倍になります。

明るさ — ディスプレイや投影ディスプレイ、または投影デバイスから発する光の量です プロジェクタの明るさは ANSI ルーメンで表されます。

色温度 — 白光の色を表します。色温度が低いほど暖色（黄色または赤みが強い）であることを意味し、色温度が高いほど寒色（青みが強い）を意味します。色温度の標準単位はケルビン（K）です。

コンポーネントビデオ — 高品質のビデオを伝送する方法です。ルミナンス信号と 2 つの独立したクロミナンス信号から成り、アナログコンポーネントでは Y'Pb'Pr'、デジタルコンポーネントでは Y'Cb'Cr' と定義されます。コンポーネントビデオは DVD プレーヤーで使用できます。

コンポジットビデオ — ルーマ（明るさ）、クロマ（色）、バースト（色参照）、シンク（水平および垂直同期化信号）を 1 つのワイヤペアで伝送される 1 つの波形に統合するビデオ信号です。NTSC、PAL、SECAM の 3 つの形式があります。

圧縮解像度 — 入力画像の解像度がプロジェクタのネイティブ解像度よりも高い場合に、画像をプロジェクタのネイティブ解像度に合わせて圧縮します。デジタルデバイスで圧縮すると画像コンテンツの一部が失われます。

コントラスト比 — 画像の明るさの値と暗さの値の範囲、または、最大値と最小値の比率。プロジェクタ業界では 2 つのコントラスト比の測定方法が使われています。

1. *フルオン/ オフ* — 完全に白い画像（フルオン）の光出力と完全に黒い画像（フルオフ）の光出力の比率を測定します。
2. *ANSI* — 16 の交互に並んだ黒と白の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で割り、*ANSI* コントラスト比を算出します。

同じプロジェクタでは、*フルオン/ オフ*コントラストは *ANSI* コントラストよりも大きい値になります。

dB— デジベル — 通常は聴覚または電子信号の間で電力と強度の相対差異を表す単位で、2 レベルの比率の常用対数の 10 倍に相当します。

対角画面 — 画面サイズまたは投影画像のサイズを測定する方法です。1 つの角から対角線上の角までを測定します。9 ft 高さ、12 ft 幅の画面の対角線は 15 ft です。この文書では、上の例のように、対角寸法はコンピュータ画像の従来の 4:3 の比率用とみなします。

DHCP— 動的ホスト構成プロトコル — サーバを有効にするネットワークプロトコルは TCP/IP アドレスをデバイスに自動的に割り当てます。

DLP®— Digital Light Processing™ (デジタル光処理)— Texas Instruments 社が開発した反射型ディスプレイ技術、小型操作ミラーを使用。光がカラーフィルターを通して DLP ミラーへ伝送されます。DLP ミラーが RGB 色を画面に投影される画像に配色します。DMD とも呼ばれます。

DMD— Digital Micro- Mirror Device— 各 DMD には数千の傾斜角、微小なアルミ合金ミラーが隠れたヨークに搭載されています。

DNS— ドメイン名システム — ドメイン名を IP アドレスに翻訳するインターネットサービス。

焦点距離 — レンズの表面からその焦点までの距離。

周波数 — 電気信号の 1 秒当たりの周期の繰返し速度です。単位は Hz（ヘルツ）です。

HDCP — 広帯域デジタルコンテンツ保護 — DVI、HDMI などのデジタルインターフェイスを使いデジタルエンタテインメントを保護するために、Intel™ が開発した仕様です。

HDMI — High Definition Multimedia Interface（ハイデフィニション・マルチメディア・インターフェース）— HDMI は、デジタルオーディオ付きの未圧縮の高解像度ビデオとデバイスコントロールデータを 1 つのコネクタで伝送します。

Hz（ヘルツ）— 周波数の単位。

キーストーン補正 — プロジェクタと画面の角度が不適切なために起こる投影画像の歪み（通常、上部が広く下部が細くなる現象）を修正するデバイスです。

最大距離 — プロジェクタが、完全に暗い部屋で使用可能な（十分に明るい）画像を投影できる画面からの距離。

最大画像サイズ— 暗い部屋でプロジェクタが投影できる最大画像サイズ。通常、光学部品の焦点範囲によって制限されます。

最小距離 — プロジェクタが画面上で画像の焦点を合わせることのできる最小距離。

NTSC— National Television Standards Committee（全米テレビ放送規格委員会）。ビデオおよび放送用の北米規格、525 ライン・30 フレーム毎秒のビデオ形式。

PAL— Phase Alternating Line（走査線位相反転）。ビデオおよび放送用の欧州放送規格。625 ライン・25 フレーム毎秒のビデオ形式。

画像の反転— 画像を水平に反転する機能です。通常の前向き投射で使用すると、文字や画像などは後ろ向きになります。画像の反転は背面投射で使います。

RGB— Red, Green, Blue（赤、緑、青）— 3 色それぞれに別々の信号を必要とするモニターを指します。

S ビデオ —4 ピンの小型 DIN コネクタを使って、ルミナンス（明るさ、Y）とクロミナンス（色、C）と呼ばれる 2 本の信号ワイヤでビデオ情報を送信するビデオ伝送方法です。S ビデオは Y/C とも呼ばれます。

SECAM— ビデオおよび放送用のフランスおよび国際的な放送規格、PAL に大変似ていますが、色情報の伝送方法が異なります。

SVGA— Super Video Graphics Array（スーパービデオグラフィックスアレイ）— 800 x 600 ピクセル。

SXGA— Super Extended Graphics Array（スーパー拡張グラフィックスアレイ）—1280 x 1024 ピクセル。

UXGA— Ultra Extended Graphics Array（超拡張グラフィックスアレイ）— 1600 x 1200 ピクセル。

VGA— Video Graphics Array—640 x 480 ピクセルカウント。

XGA— Extended Video Graphics Array（拡張ビデオグラフィックスアレイ）— 1024 x 768 ピクセル。

WXGA —Super Extended Graphics Array（スーパー拡張グラフィックスアレイ）—1280 x 800 ピクセル。

ズームレンズ — 可変式焦点距離のレンズで、画像を縮小したり拡大して表示できます。

ズームレンズ比 — レンズが固定距離から投影できる最小画像と最大画像の比率です。例えば、1.4:1 ズームレンズ比とは、ズームなしの 10 フィート画像が、フルズームでは 14 フィートになることを意味します。

索引

D

Dell への
お問い合わせ 74

Dell へのお問い合わせ 64, 67

R

RJ45 コネクタ 9

あ

オーディオ出力コネクタ 9

オーディオ設定 43

オーディオ入力 43

オンスクリーンディスプレイ 31
その他 41
ピクチャ（PC モード）33
ピクチャ（ビデオモード）34
メインメニュー 31
ランプ 38
自動調整 33
設定 38
入力選択 32
表示（PC モード）35
表示（ビデオモード）37

か

キャプチャ画面 42

クイックシャットダウン 44

クローズドキャプション 46

コントロールパネル 23

さ

サポート
Dell へのお問い合わせ 74

スクリーン 43

スピーカ 43

セキュリティ設定 44

た

テストパターン 47

デルへのお問い合わせ 6

トラブルシューティング 61
Dell へのお問い合わせ 61

は

パスワード 44

プロジェクタのズームとフォーカスの調整 21
ズームタブ 21
フォーカスリング 21

プロジェクタの接続
HDMI ケーブル 16, 17, 18
HDMI ケーブルでの接続 16
RS232 ケーブル 12

RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続 12
S ビデオケーブル 13
S ビデオケーブルでの接続 13
USB - USB ケーブル 10
VGA - VGA ケーブル 10, 11
VGA - YPbPr ケーブル 15
コンピュータへ 10
コンポーネントケーブルでの接続 15
コンポジットケーブルでの接続 14
コンポジットビデオケーブル 14
電源コード 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18
プロジェクタの電源を入れる / 切る
プロジェクタの電源を切る 19
プロジェクタの電源を入れる 19
ボリューム 43

ま

メニュータイムアウト 42
メニューの透明度 42
メニュー位置 42
メニュー設定 42

ら

ランプの交換 67
リセット 43
リモコン 26
IR レシーバ 24

画面設定 42
仕様
I/O コネクタ 70
RS232 プロトコル 72
オーディオ 70
カラーホイール速度 69
コントラスト比 69
ノイズレベル 70
ビデオ互換性 69
ライトバルブ 69
ランプ 71
画素数 69
環境条件 70
均質性 69
質量 70
消費電力 69
寸法 70
電力供給 69
投影レンズ 69
投影画面サイズ 69
投影距離 69
表示可能な色 69
明るさ 69
消音 43
省電力 43
接続ポート
HDMI コネクタ 9
RS232 コネクタ 9
S ビデオコネクタ 9
USB リモートコネクタ 9

VGA-A 出力（モニターループスルー）9
VGA-A 入力（D サブ）コネクタ 9
VGA-B 入力（D サブ）コネクタ 9
オーディオ -B 右チャンネル入力コネクタ 9
オーディオ -B 左チャンネル入力コネクタ 9
オーディオ入力コネクタ 9
セキュリティケーブルスロット 9
マイクコネクタ 9
電源コードコネクタ 9

電源設定 43

電話番号 74

投影画像の調整 20
プロジェクタの高さ調整 20
プロジェクタを下げる
エレベーターフット 20
エレベーターボタン 20
傾斜調整ホイール 20

本体 7
IR レシーバ 7
エレベーターボタン 7
コントロールパネル 7
ズームタブ 7
フォーカスリング 7
レンズ 7